

【資料2】 4月30日(金)午前中までに県中教研事務局へお送りください。

《郡市中教研の「研究実施計画」の様式》

() 郡市中教研研究計画

会 長 _____
会員数 _____ 名 (名)
↑

1 本年度研究の基本方針

※ () 内は、外数として、特別支援学校からの会員数をご記入ください。

(1)

該当者のない場合は、() は不要です。

(2)

・

・

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
1	国語	()	
2	社会	()	
3	数学	()	
4	理科	()	
・	・		
・	・		
・	・	↑	

() は、外数として、特別支援学校からの会員数をご記入ください。

該当者のない場合は、() は不要です。

※ 部員数記入上のご注意

* 会員総数及び部員数は、研究計画・部会だより・会報等の配布の関係から、漏れなく、正確にご記入ください。

* 校長先生、教頭先生も各部会に所属して記入してください。

* 2つの部会に重複して所属の場合も、漏れなくご記入ください。

(特に、道徳・特別活動・特別支援教育部会につきましては、

重複数を明示していただければ幸いです。)

【記入例】・全員重複の場合 → 10 (重複)

・10名中8名が重複の場合 → 10 (重複8)

3 年間計画の概要（例）

月	会 合 名	会 場	内 容
4	事前研修会 全体研修会 部 会	朝 日 中	平成21年度事業・決算報告、22年度役員・事業・予算等の審議、承認 研究組織・研究主題・年間計画の作成
6	部 会	朝日中 入善中 入善西中	教材研究、研究の視点の明確化、指導案の作成と検討、授業研究、事後研究、発表資料検討 等
10	東部地区大会	各 会 場	授業研究、研究発表と協議等
1	事前研修会 部 会	朝 日 中	平成21年度事業経過・会計中間報告 本年度研究のまとめと反省 研究紀要の作成と配布

4 留意事項（例）

- (1) 県中教研の研究主題を踏まえ、望ましい学習成立の過程に着目して研究を推進する。
- (2) 道徳と特別活動の指導について研修を深める。

※ 郡市中教研研究計画の原稿を執筆してくださる方へのお願い

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 本年度の「研究計画」（富山県中学校教育研究会発刊）に載せますので、<u>4月30日(金)午前中までに</u>県中教研事務局へお送りください。 2 記入様式は前記の通りです。 3 分量は、製本でA4・2ページ分に収まる程度にしてください。 4 昨年度の県中教研「研究計画」をご参照ください。 |
|---|

小矢部市中教研 研究計画

会 長 福 田 達 也

会 員 数 6 3 名

1 本年度研究の基本方針

主題の解明を図るために、研究主題と研究内容（P）、授業研究と研究発表（D）、学力調査等（S）のトライアングルの関係を重視し、研究を推進する。

- (1) 指導内容を小・中・高等学校一貫の立場から見通し、相互の関連を図りながら系統的・発展的な指導に努める。
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くよう、個に応じた指導の充実を図る指導計画、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
- (3) 生徒の自主的・自発的な学習計画を促し、考えを深め合い、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学び方が身に付く指導計画、指導方法の改善に努める。
- (4) 指導計画や指導方法の改善に生かすため、学習の過程や成果を評価規準に基づいて評価し、指導と評価の一体化に努める。
- (5) 研究の成果を振り返り、日常の教育実践に生かすことができる研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
1	国 語	9	言葉による見方・考え方を働かせ、思考・判断・表現する言語活動を通して、国語の資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 － 言葉に対する自覚を高める言語活動の工夫 －
2	社 会	8	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるにはどのようにすればよいか。 － 思考力・判断力・表現力等を育てるための教材開発や学習活動はどうあればよいか －
3	数 学	10	数学的に考える資質・能力を育成するために、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、深い学びを実現する指導はどうあればよいか。 － 振り返りの場面の充実を目指して －
4	理 科	6	理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 － 観察、実験等を行い、科学的に探究する力を養うための指導の工夫 －
5	音 楽	4	幅広い音楽活動を通して、「音楽的な見方・考え方」を働かせ、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 － 育成を目指す資質・能力を明確にした指導計画と指導に生かす評価 －
6	美 術	3	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導はどうあればよいか。 － 美術科で育成することを目指す資質・能力の三つの柱の実現に向けて －
7	保健体育	7	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を育てる学習指導はどうあればよいか。 (体育分野) 身に付けた知識や技能を基に、その段階に応じ運動を豊かに実践していくための指導過程はどうあればよいか。 (保健分野) 自らの健康を管理し、改善しようとする実践力を育てるための指導過程はどうあればよいか。

8	技術・家庭 (技術)	2	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 － 生活にいかすための問題解決的な学習の充実 －
9	技術・家庭 (家庭)	1	
10	英 語	9	コミュニケーション能力を養うにはどのように指導したらよいか。 － 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して －
11	道 徳	4 (重)	主として人との関わりに関する道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳科の授業はどうあればよいか。 － 道徳的諸価値の理解を基に、道徳的な考えを深める発問の工夫 －
12	特別活動	4 (重)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 － 生徒が主体的に参加し、合意形成や意思決定を目指す話し合い活動を通して －
13	特別支援	9 (重)	特別な支援を必要とする生徒の個性や能力を伸ばし、自立と社会参加を推進する指導はどうあればよいか。 － 生徒の教育的ニーズに応じた学習過程の工夫 －
14	保 健	4	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む資質・能力を育てる健康教育はどのようにすればよいか。 － 生徒が心身の健康について理解を深め、主体的に健康な生活を実践するための指導の工夫 －

3 年間計画の概要

月	会 合 名	会 場	内 容
4	第1回具体化研究会	大谷中	令和2年度組織、運営方針、事業計画、予算案審議
	専門部会研修会	大谷中	各部会組織、研究主題、研修計画等の検討・作成
5	地区中学校教育課程研究大会 部会別研修会	各会場	地区中学校教育課程研究大会の事前研修 (各部会)
6	地区中学校教育課程研究大会	各会場	授業研究、主題解明研究協議 (各部会)
8	夏季部会別研修会	各会場	指導内容・指導方法・評価研修、現地・実技研修
8・9	県中学校教育課程研究大会 部会別研修会	各会場	県中学校教育課程研究大会の事前研修 (各部会)
10	県中学校教育課程研究大会	各会場	授業研究、主題解明研究協議 (各部会)
1	教育研究実践記録審査会	大谷中	
3	第2回具体化研究会	大谷中	次年度の計画立案

4 留意事項

- (1) 学習指導要領のねらいや考え方等を踏まえて研究を推進するとともに、学習指導要領の中核をなす「生きる力」を育む教育を推進するために、研究組織、研究内容、研究方法の改善を図り、より充実した研究を推進する。
- (2) 砺波地区中教研との連携に基づく研究体制を保持するとともに、本研究会としての研究の継続を重視した実践的・組織的研究を推進する。